

東大世界史から見る国際政治! ②

班のメンバー

組	番	氏名	組	番	氏名

19世紀末から20世紀初頭にかけて、いくつかの戦争が起り、また、世界各地でさまざまな反帝国主義運動が展開された。下記の諸都市と関連することからを思い浮かべながら、1894年から1910年にいたる時期の反帝国主義運動について、20行(600字)以内で述べよ。なお、下記の都市名を解答文の中で使用する必要はない。

(東京大学 文 1985年)

東京 漢城(ソウル) 北京 マニラ カルカッタ テヘラン
イスタンブル ハルトゥーム ペテルブルク ハバナ

ヒント1 問題文をよく読み、解答を要求されている「地域」と「時代」を絞り込もう。

今回の問題では、国(地域)をしっかり確定できることが大切です。

時代: 19世紀末~20世紀初頭→1894年~1910年

地域: 都市に関連する国

その他: いくつかの戦争、反帝国主義運動

ヒント2 指定語句は、「条件」でもあり「ヒント」でもある。指定語句を参考に、要求されている解答(部分点となる用語や表現)を推測しよう。

今回はまず国のあとに、問題文にある反帝国主義運動の具体例をあげていこう。

ヒント3 いきなり文章を書き始めるのではなく、簡単なレイアウト図を作ろう。

ヒント4 問題文をよく読み、解答の「方向性」の軸を作ろう。

最初は事実の羅列でも仕方ないが、美しい解答は文章の最初から最後までひとつのテーマによって貫かれたものになります。

今回の問題では、**年号に注目**してもらえると何を軸にして書いていけばよいのかが見えてくるかもしれませんが、前回よりも気づくのは難しいと思います。

1894年~1910年という年号は、1910年はキリがいいですが、1894年って何かおかしくないですか? そこに気づくと1910年の持つ意味に気づき、軸が見えてきます。

レイアウト図を作ろう!

指定語句	国	いくつかの戦争と反帝国主義運動
東京	日本	日清戦争→日露戦争→韓国併合
漢城(ソウル)	朝鮮(大韓帝国)	日清戦争→大韓帝国→日露戦争→第2次日韓協約→反日義兵闘争→韓国併合
北京	中国(清)	義和団事件→8カ国共同出兵→日露戦争→中国同盟会の結成
マニラ	フィリピン	米西戦争→フィリピン=アメリカ戦争(フィリピン革命)
カルカッタ	インド(英領インド帝国)	ベンガル分割令→国民会議カルカッタ大会4綱領
テヘラン	イラン(カージャール朝)	イラン立憲革命
イスタンブル	オスマン帝国	青年トルコ革命
ハルトウム	スーダン	マフディーの反乱
ペテルブルク	ロシア帝国(ロマノフ朝)	日露戦争→血の日曜日事件→第1次ロシア革命
ハバナ	キューバ	スペインに対する独立運動→米西戦争

解答欄

1894年、日清戦争に勝利した日本は、台湾などを獲得した。これに対してアジア進出を狙うアメリカは、1898年にキューバの独立運動をきっかけとして起こった米西戦争に勝利し、フィリピンを獲得した。

日清戦争に敗れた清では、列強による中国分割が進み、1900年に欧米諸国の進出に対する反発から義和団事件が起こった。これは直接的にはドイツの山東半島進出に対して起こった運動であったが、清がこれを支援すると、列強は8カ国共同出兵による鎮圧に乗り出した。しかしアメリカはフィリピン共和国を建国したアギナルドとのフィリピン=アメリカ戦争、イギリスはスーダンにおけるマフディーの反乱やブール人との南アフリカ戦争の影響から大軍を派兵できず、日本とロシアが主力となった。

両国は1904年に日露戦争で衝突し、1905年の血の日曜日事件をきっかけにロシアでは第1次ロシア革命が勃発した。1905年に日本が勝利したことは、アジア各地の反帝国主義運動に大きく影響を与えた。東京では孫文が中国同盟会を結成、ベトナムではファン=ボイ=チャウが東遊運動を指導、インドではベンガル分割令への反発からインド国民会議でカルカッタ大会4綱領が採択、カージャール朝ではイラン立憲革命、オスマン帝国では青年トルコ革命が起こった。

朝鮮半島では、第2次日韓協約で韓国の保護国化が進むと、反日義兵闘争が活発となり、安重根による伊藤博文殺害事件が起こった。しかし1910年に日本は韓国を併合した。(600字)